



い ず み

令和7年9月30日発行

<学校教育目標>

自ら行動する子  
かかわり合い、  
よりよい自分を  
目指す子

学校HP



コミュニティ  
スクール



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

## 子供たちを主体的な学び手に

校長 鷲見 真太郎

本校では3年前から「問いをもって学び続ける児童の育成」というテーマで、校内研究を進めています。令和の日本型教育で提唱されている「学び手主体」「個別最適かつ協働的な学び」や「子供たちが主体的に学校生活を送ってほしい」という教職員の願いが源泉となって、このテーマが設定されました。子供たちが「何を学ぶか」から、今後生きていく上で必要な「資質・能力」をどう身に付けるか、という考え方の転換が、現行の学習指導要領で示されています。さらに、子供たちが学びの主体として、自分たちで計画し、自分なりの学び方で、自走して学ぶ力の必要性が、現在検討されている次期学習指導要領に向けた話し合いの中で言われています。本校は、子供たちの初発の問いを大事にして、それをもとに自分たちで計画し、自分に合った学び方を進めていく、そうしたプロセスを研究しています。現状と成果は、10月10日（金）に行う、狛江の教育21研究協力校 研究発表会で、お見せする予定です。

さらに並行して、子供たちの学校生活を自分たちで確立するための取組にも力を入れています。5・6年生の代表が集まって、学校全体の行事やきまりなどについて話し合う「いずみサミット」も2年目となり、子供たちの自覚とやる気がみなぎる、前向きな話し合いが行われています。また、今年度は、クラブ活動・委員会活動共に、あらかじめ人数制限を行わず、自分が1年間取り組みたいものを選び、活動内容も子供たち自身がアイデアを出し合いながら計画し、進めています。各学級での話し合い活動や係活動等も含め、生活面においても子供たちが主体となれるよう、今後も発展させていきます。

自分やみんなにとって、暮らしやすい、幸せな社会は、誰かが作ってくれるものではなく、自分たちで作っていくものです。子供たちには、自分を取り巻く環境に対して、当事者として、自分事として考えられる大人になってほしいと考えます。自分たちの学校は自分たちで作る、そうした過程の中で育った子供たちが、自分たちの生きる社会を作る担い手となってほしいと、切に願っています。

### 10月の安全指導

#### 安全で落ち着いた生活

- 安全に過ごすために、危険な場所には入らないよう指導します。
- 廊下歩行や道路歩行などについての交通ルールを確認します。